

特別顧問・特別参加が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた検討状況報告）
日 時	平成30年10月29日（月曜）13時30分～17時45分
場 所	大阪市役所本庁舎5階 秘書担当会議室
出 席 者	（特別顧問・特別参加）： 清水特別参加・山本特別参加 （職員等）： 政策企画室（市民情報部長・広報担当課長・広報担当課長代理 外6名） 副首都推進局（戦略調整担当課長代理 外3名）
論 点	・大阪市の各種広報媒体及び広報手法について
主 な 意 見	（大都市制度周知にかかる広報について） ・伝えたいことを一つに絞っていく方がコミュニケーション効率としては良い。内部的に一つに絞ることが難しいというのも理解できるが、動画ではこれを伝えたい、紙媒体ではこれを伝えたい、という戦略があればそれはありえる話。全部が全部を満たしていくと中途半端なものになってしまう。 ・動画について、2つのテーマを伝えたいなら、2つに分けるべき。 （来年度広報研修の方向性について） ・ユーザー目線の徹底と情報の整理がどこまでできるかということが一番やるべきこと。作るためのスキルよりも、テーマは何か、ターゲットは誰か、伝えたい情報の整理整頓、優先順位をつけるということができれば表現としてはかなり良くなる。 （広報クオリティ確保の取組みについて） ・情報の整理整頓ができていることが大事。デザインに入る前に、伝えるべき情報のプライオリティをきっちり決めさせることが必要。それができると自ずとレイアウトも良くなってくるはず。そういう観点で、テンプレートの素材となりうるサンプルを選定。
結 論	・本日の助言を踏まえ、各種広報媒体の見直しの検討を進める。
説明等資料	
備 考	
関係所属 （ 部 課 ）	政策企画室市民情報部広報担当 副首都推進局戦略調整担当